

ここがポイント！ものづくりの基本スキルを習得する

中核人材育成塾 2021

岐阜高専地域連携協力会 主催

ベーシック
コース
全5日
5講座

ものづくりの現場（職場）では、生産性の向上はじめ高品質・低コスト・短納期をバランスよく達成することが求められており、これらに対してリーダーシップを発揮して挑戦する“中核人材”を育成することが重要な課題となっています。「ベーシックコース」では、ものづくりを支える基本的な考え方と取り組み方について演習を交えながらわかりやすく解説します。

また、社会環境の複雑化や現場（職場）のIT化に伴い新たな課題となっている「コンプライアンス（法令順守）」と「情報セキュリティ」について、企業・個人にとっての重要性と取り組み方を学び、実践につながる講座を新たに設けました。ものづくり現場のリーダーの方々の参加をお待ちしています。

第1回 4月15日（木）

明日から使える
品質管理の基礎と実践

第2回 5月13日（木）

5Sから始める
職場の見える化

第3回 5月27日（木）

現場でおさえる
原価・在庫の知識

第4回 6月10日（木）

コンプライアンスと
情報セキュリティの話

第5回 7月8日（木）

トヨタ流モノづくり
（TPS）の基本と実践

対象	ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様 経験年数5～10年程度
定員	各講座20名（1社複数名も可） 講座単位の受講が可能です。
時間	9:30～16:30 6時間（9:00から受付）
会場	岐阜工業高等専門学校（図書館内 多目的ホール他） 本巣市上真桑2236-2
講師	ものづくりについての豊富な経験や知識を有する岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が務めます。
参加費	各講座共、1講座につき1名8,000円（地域連携協力会会員は5,000円） 受講申込と同時に協力会入会の場合は会員価格を適用します。 （年会費10,000円、但し、入会時年会費は入会月から12月末までの月数×1,000円）
詳細	岐阜高専地域連携協力会HP http://www.gifu-nct.ac.jp/cooperative/



申込期限 2021年3月22日（月）

申込方法 添付の申込書(上記HPからダウンロードも可能)にご記入の上、FAXまたはEメールに添付で送付をお願いします。

研修後のフォローアップ： ご希望により「逆スクーリング制度（フォローアップ）」を実施します。講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

1

現場で役に立つ品質管理手法の使い方を学ぼう 明日から使える品質管理の基礎と実践

4/15(木)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

ものづくりに関わる企業にとって、品質問題は会社の存続をも決定づけてしまいます。にもかかわらず品質問題が次々と市場で発生するのは一体なぜでしょうか。この講座では品質管理(QC)の基礎スキルや現場で使える品質の見える化手法を学ぶと共に、ものづくりの基本となる現場での品質活動の考え方を学びます。さらに、いま話題のIoTと品質管理や品質トレーサビリティについても触れます。講義だけでなく簡単な演習も取り入れています。

講師 中居 仁司

事務機メーカーで複写機の開発設計とタグチメソッドの社内普及活動に従事。電機メーカーに転職後はレーザープリンターの研究開発と製品化を担当。研究・開発企画・設計・生産立上げを幅広く経験。最近では岐阜高専産学官連携アドバイザーやキャリアコンサルタントとして活動中。専門分野：品質管理、金属材料の熱処理、キャリア開発

1. 品質の重要性を考える

- 1 日本で最近、品質問題が多いのはなぜ?
- 2 品質とは何?
- 3 品質活動が会社を支える
- 4 お客様満足の「お客様」は誰?

2. 品質活動の基本を理解する

- 1 PDCAサイクルと3現主義
- 2 問題の見える化が重要
- 3 QC的問題解決法
- 4 QC七つ道具、新QC七つ道具

3. 品質管理の基礎知識

- 1 見える化の第一歩はグラフ
- 2 データのバラツキに注目
- 3 バラツキ具合で工程を把握
- 4 管理限界と規格幅

4. 品質活動の進め方

- 1 品質トレサビとは? IoTでデータを活用
- 2 品質活動の全社展開
- 3 もしも品質問題が起きたら
- 4 まとめ

*電卓をお持ちください。(スマホでも可)

2

ものづくり現場での改善の地力をつける 5Sから始める職場の見える化

5/13(木)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

「5S」は改善活動の基本であり、「5S」ができなければ、あらゆる改善活動の成果を期待することはできないと言っても過言ではありません。そして、5S活動をさらに現場に定着させる手段が「見える化」です。「見える化」はわかり易い現場マネジメントの方法であり、誰でも一目で異常と正常がわかるような管理の仕組みづくりです。5S活動の基本からスタートし、さらに一歩進んだ工場全体の見える化を実現するための具体的な方法について実例と演習を交えて解説します。

講師 桑原 喜代和

大手工作機械メーカーにて、加工と組立の自動化、生産管理システムの更新、ERPの導入、等のプロジェクトを推進。部品加工から製品組立までの全般に渡る技術・管理・情報分野での実務経験が豊富。コンサルタントとして独立し、「ケイ・サポート」を創立。生産管理・生産技術・情報システムを含む、製造全般の改善、改革、革新を支援中。

1. 5Sと見える化で現場が見違える!

- 1 5S活動の意義と見える化の効果
「見える化」≠「見せる化」
- 2 全員が一丸となって改善活動を進めるための心構え

2. まずは「5S」の基本を押さえよう

- 1 整理・整頓・清潔・清掃・躰の本当の意味
- 2 「整理」とは? 赤札作戦で捨てる!
- 3 「整頓」とは? 見えるようにする!
- 4 「清掃」「清潔」「躰」とは? キレイを保つ!
【演習】5Sチェックリスト
- 5 まずは2S(整理、整頓)活動からのスタート

3. 理想的な工場が見える「見える管理」

- 1 5S活動と「見える化」との連携
- 2 何のために、何を見えるようにするのか?
- 3 2つの改善手法(PDCAとSTPD)で活動する
- 4 改善活動の行動計画は5W1Hで具体的に作成
- 5 「見える化」成功への7つのポイント

4. 工場全体で「見える化」を進めよう

- 1 工場(どこで、どのように)の見える化
- 2 生産管理(いつ、なにを)の見える化
- 3 在庫(どこに、なにが)の見える化
- 4 事務所の見える化 机の周りも例外ではない
- 5 これならできる!現場の見える化「20の事例」
- 6 IT(情報技術)を活用したさらなる見える化

3

原価改善活動の盲点に気づき

現場でおさえる原価・在庫の知識

5/27(木)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

さまざまな日常業務の中で現場リーダーには、利益と儲けのちがいを理解し国内のみならず海外との企業競争に勝ち抜くため、自分達がつくりだす製品の付加価値に気づき、原価改善活動の向上・高度化が求められています。本講座では原価低減の考え方をわかりやすく解説し、具体的な演習もまじえ現場で直ちに実践・展開できる考え方を身につけます。

講師 奥野 泉

大手情報通信機メーカーで通信システム設計など広く技術分野の業務に従事後営業畑に転向、岐阜支店マネージャー、系列会社中部支店長などを歴任し広範な実務経験・ノウハウを持つ。技術・営業場面の実践的な仕事に精通し、技術思考に基づく営業・経理分野の見方、講義には定評がある。

1. やさしい原価と利益の話

- 1 原価と利益及び儲けの違い
- 2 原価改善活動の重要ポイント3つ
- 3 採算判定ができる付加価値会計
- 4 コスト分解による原価低減の切り口

2. 品質・在庫と原価構造

- 1 市場と原価低減活動
- 2 材料費で付加価値を測る
- 3 ものづくりの標準的原価構造
- 4 モトの取れる販売個数の計算 【演習】

3. コストの見える原価計算

- 1 自分の1時間人件費と自部門賃率
- 2 現場におけるコスト見える化
- 3 失敗コストを金額で把握してみよう
- 4 外注費でよくある勘違い 【演習】

4. 静かに増える原価

- 1 なぜ在庫は嫌われるのか
- 2 現場の盲点 機会損失・機会費用・埋没費用
- 3 在庫改善の押さえどころ

※ 電卓・定規（20cm）を持参ください。

4

あなたと職場を守る

コンプライアンスと

情報セキュリティの話

6/10(木)
9:30~16:30
図書館 多目的ホール
(予定)

コンプライアンス（法令順守）と情報セキュリティは企業活動、社会生活の基本です。対応を誤るとあなたの職場を壊してしまうだけではなくあなた自身も大きな被害を受けます。これを防ぐには正しい対応方法を知り、我が身は自分で守らなければなりません。本研修では身の回りで起こり易い具体事例をもとに、コンプライアンスにて適切な対応方法と法規制内容を、情報セキュリティにて自分達の職場で即できる具体的な対策や行動を分かり易く解説します。

講師 野田 直司

FA機器メーカーにて電子回路や基板の設計、ソフトウェア開発、現場での製品立ち上げ、さらには品質保証やクレーム対応を担い、製品デリバリの川上から川下およびその周辺幅広い分野の実践経験を持つ。2019年度から岐阜高専産学官連携アドバイザーとして、実務体験を活かしたコンプライアンスと情報セキュリティに係るテーマを支援している。

● コンプライアンス（法令順守）

1. 法令順守はなぜ必要か

身近な不祥事とその結末から学ぶ

- 2. 職場の仲間どうして守ること
- 3. 職場（組織）の一員として守ること
- 4. 社会生活を営む個人として守ること
- 5. 解説編

● 情報セキュリティ

- 1. 情報セキュリティとは何か
- 2. 社会人としてのセキュリティ心得
- 3. メールのセキュリティ事故
- 4. テレワーク、ビデオ会議での注意事項
- 5. スマホのセキュリティ確保
- 6. ウィルスに感染したら・情報が漏れたら
- 7. 情報セキュリティ チェックシート

モノづくりの基本は「お客様に良いモノを・安く・タイムリーに提供する」と言われていますが、現場では品質・コスト・生産を阻害する「数多くのムダ」が存在します。

その「ムダ」に気づき「ムダ」を徹底的に排除することで現場が変わり、その変化でまた新たな「ムダ」が発生します。この繰返しの実践が現場の改善力を高め、人を育てます。本講座ではトヨタ生産方式をベースに「モノづくりの基本的な考え方と改善の進め方」をやさしく解説します。

講師 西川 哲雄

自動車メーカーの開発部門、製造部門にて車両の企画・設計及び生産技術(塗装)、品質管理などに40年余り従事。新製品の立上げ、製造ラインの構築、更に車両の品質造り込み活動を実践。車両の開発から完成・出荷までの幅広い実務経験を持つ。

最近は、実務経験を活かしてトヨタ生産方式の教育分野での講師を務める。

1. トヨタ生産方式(T P S)とは

- 1 T P Sの目的
- 2 改善活動時の心構え
- 3 T P Sの基本は5 S
- 4 ムダの考え方

2. T P Sの2本の柱

- 1 前提条件(タクトタイムと平準化生産)
- 2 ジャストインタイム
 - ・後工程引取り、後補充生産
- 3 自動化(ロボ)の付いた自動化
 - ・品質は工程で造り込む「不良は後工程に送らない」

3. 一人工の追求

- 1 省人の意味
- 2 量変動に対応した小人数
- 3 ペースメーカーの役割

4. 標準作業

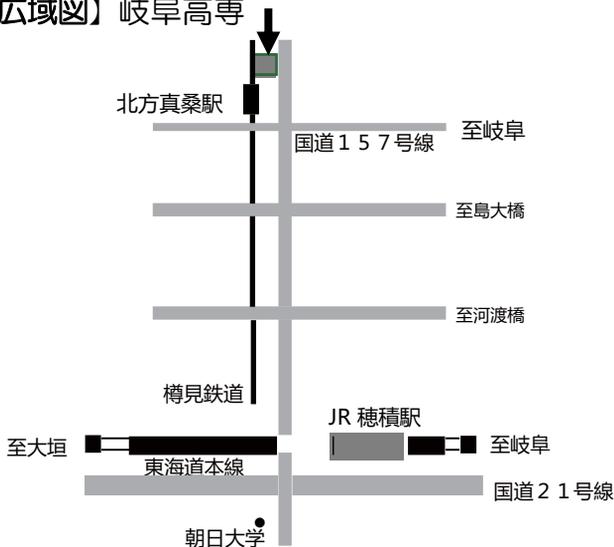
- 1 標準作業とは
- 2 標準作業の3要素
- 3 標準作業をきめる手順
- 4 標準作業による改善

*電卓をお持ちください。(スマホでも可)

【コロナ感染防止対策】

- ・受講前2週間以内に海外渡航歴がない方のみを受講可能といたします。
- ・受講日の朝、自宅にて検温し平熱をご確認の上受講願います。
- ・受付時に検温し、37.5℃以上の場合は入場を控えていただきます。
- ・講師及び受講者共にマスクを常時着用するものといたします。
- ・アルコール消毒液を講義室の内外に準備いたします。
- ・受講者数を最大20名とし、ソーシャル・ディスタンスを確保いたします。
- ・講義中も常時換気いたします。

【広域図】岐阜高専



【最寄バス停・駅】

■岐阜バス 岐阜高専バス停	徒歩0分
系員分庁舎・ モレラ南口バス停	徒歩7分
高砂町バス停	徒歩10分
モレラ岐阜バス停	徒歩12分
上真桑バス停	徒歩15分
加茂町バス停	徒歩15分
■樽見鉄道 北方真桑駅	徒歩12分
モレラ岐阜駅	徒歩12分